

＜ 第50回高高神田会のご案内 ＞ 28.9.19

「第15回 秋土用コンサート in 東慶寺」のご案内

～ コントラバスと木管楽器の夕べ ～

ずいぶんと秋らしくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年は7月3日まで台風が発生せず台風が来ない年ということでしたのに、お盆が過ぎると毎週台風の話題で大変です。一時期に比べ台風の時期がちょっとずれている気がします、4年後の東京オリンピックは大丈夫でしょうか。

さて、恒例の東慶寺コンサートのご案内です。

秋の東慶寺コンサートは第15回目となりましたが、神田会の秋のコンサートは数えて第16回目となります。突然思いついて文京区シビックホールでの「お月見コンサート」を開催したのが2001年11月5日でした。(今年と同じ11月5日だったのですねえ。)

これが秋のコンサートの記念すべき第一回目。白川真理さんはその第一回目の出演者でした。思いおこせば翌年

「名月 鎌倉の名刹 静かなベースとフルートと箏の演奏」

と謳って、藤原さんを大々的に迎えて東慶寺での演奏会が始まりました。

箏の演奏は白川さんのご友人である長谷川愛子さんにゲスト演奏をお願いしました。あの藤原さんに出てもらってあの東慶寺での演奏ということで、とにかく準備も入念に行い大変緊張しつつ開催したような記憶がございます。

15年も前のことです。(最近はいいい加減に準備し弛緩しきって開催しているということでは決してございません。念のため。)

さて、今回は、

藤原清登さん (ベース：S47年卒) と

白川真理さん (フルート：S52年卒) に加え、今年のゲストとして

三味線奏者の柳家小春さん、トロワ・パルファン (白川真理さん・日比野久美子さん・小関めぐみさんのフルートトリオ)

さらに谷口京^{みやこ}さん (オーボエ：H4年卒) をお迎えいたします。

藤原さんと白川さんはおなじみですので皆さん良くご存じですね。

三味線奏者の柳家小春さんは、名人といわれた寄席音曲師、粹曲の柳家紫朝に弟子入りし、寄席出演を経て、現在はライブスペースでの演奏活動など活動

の幅を広げています。

ベースと三味線のデュオからどんな音が奏でられるのか、楽しみです。

「トロワ・パルファン」は白川さんが自己紹介されておりますので引用します。

「トロワ・パルファン」（3つの香）というフルート3人（白川真理・日比野久美子・小関めぐみ）のトリオのアンサンブルで参加させていただきたいと思います。3年前に結成した熟年？かしまし娘、パフュームです。今回はトロワ・パルファンのために書かれたオリジナル作品も披露する予定です。

パフューム？ 何だろう？ ひょっとしてあの女性テクノポップトリオかなあ？ 想像は膨らみますが百聞は一見に如かずです。

『トロワ・パルファン』（フルートトリオ）

2013年冬、白川の呼びかけに応え、白川同様に銀のビンテージフルートを愛好する日比野、小関が参加し結成。歌口にアンダーカット（面取り）が施されていないビンテージフルートならではの響きを追及している。『トロワ・パルファン（Trois Parfum／三つの香）』は三者三様の香りが様々なバランスで調号され新たな深みを持った香りへと調和することを願って付けられた。毎年、現代の才能ある作曲家達に『Trois Parfum』のタイトルで曲を依頼し、オリジナル作品の開拓にも努めている。

オーボエの谷口 京さんは、今年の東京玉翠会総会の幹事学年・平成4年卒で、総会ではウェルカム演奏をしてくださいました。また、白川さんのTBB（高松高校ブラスバンド部）の後輩でもあり、偶然にも来年出演が予定されている蠣崎耕三さん（読売日本交響楽団首席オーボエ奏者）のお弟子さんでもあります。現在は海上自衛隊横須賀音楽隊オーボエ奏者としてご活躍です。

谷口 京（オーボエ）高松高校 H.4 年卒

16歳よりオーボエを始める。香川県立高松高等学校を卒業後、大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コースを卒業。桐朋学園大学附属桐朋オーケストラアカデミーを修了したのち、桐朋学園大学音楽学部研究科を修了。オーボエを橋本徹雄、似鳥健彦、大嶋 弥、蠣崎耕三の各氏に師事。室内楽を中川良平、二宮和子、四戸世紀の各氏に師事。

現在は海上自衛隊横須賀音楽隊オーボエ奏者として全国各地で演奏活動を行っている。

とにかく去年がベース・クラヴィコード・ギターと「弦」の競演でしたが、今年は「木管」の競演と言えるでしょう。

そして毎年、鬼気迫る演奏を聴かせてくださるベース王・藤原清登先輩。

今年はどのような試みをされるのか？（当日のお楽しみ！）

みな、とっても楽しみです。

さらに今年の東慶寺コンサートの総合司会は、弁舌爽やかに幹事会で活躍された同じく平成4年卒のプログラムパートチーフ・本澤永人さんです。岡崎洋先輩の「そうや！司会やってもらおうで～」という申し出を快諾いただきました。本澤さんのお父様は高松高校の英語の先生でいらしたそうです。平成4年卒（へ～よん）のお二人の参加で、さらに元気一杯の宴となりそうで、こちら楽しみです。

ということで、下記のとおりご案内申し上げます。

(今年から1時間早まって、午後4時の開演となりました。ご注意ください。)

開催日時 : 11月5日(土) 午後3時30分受付 午後4時開演
場所 : 鎌倉 東慶寺本堂 (JR北鎌倉駅より徒歩3分)
鎌倉市山ノ内1367 Tel 0467-22-1663

今年もまた舞台装飾照明担当主任(S53 卒長尾みどりさん)の腕の見せ所です。だんだん凝り方に磨きがかかったような気がします。これも15回という歴史と経験の賜と言えます。

なお、当日の費用ですが、神田会ですので、関係者の皆様のご好意に甘えながらやっております。東慶寺(S45 卒井上米輝子さんのお寺)の皆様や当日のパンフ作成は池上晴英さん(S45 卒)など、いろいろご協力を頂いております。

とはいえ、無償ということはできず、実費等の関係で、会費として **8,000 円** (食事をされない場合は **5,000 円**) をお願い致します。

本当は1万円でも赤字なのですが、東慶寺の井上さん、出演者の方々、ステージデザイナー、池上さんと色々な方々のボランティア精神に甘えており、この金額でお願い致します。

今年もそんな皆さま方のご参加を心からお待ちしております。

毎年ご案内していますが、この時期の東慶寺はいろいろな草花がとてもきれいに咲いています。シュウメイギク・リンドウ・ホトトギス・ヒメツルソバ・ナデシコなどなど。昼過ぎにでも来ていただいて花を愛でながらの散策などいかがでしょうか。

東慶寺さんのWEBサイトに「フォトギャラリー」がございます。季節の美しい写真が月ごとに投稿されています。

例えば2014年の11月 ↓

<http://www.tokeiji.com/photogallery/gallery.html>

と思ってみているとなんと藤原さんの写真が出ていました。

写真に腕に覚えがある方は作品投稿もオツなものだと思いますよ。



第 15 回 東慶寺コンサート（11月5日 土曜日） お申込書

- 今回も先着順ということで受付をいたします。
- メール、FAX、郵便なんでも結構です。
- いつもの面々に連絡下さい。
- どうしてもコンサートのみ参加という方はその旨明記下さい。

第 15 回 東慶寺コンサート 参加申込書

氏名

卒年

連絡先

電話

ファックス

メールアドレス

住所

一緒に参加される方

1、

ご関係

2、

ご関係

3、

ご関係

4、

ご関係

FAX 送付先 03-5296-7678 岡崎 洋 okazaki@tokeilaw.com
 神田会 メーリングリスト でも受け付けます。



さて、

11月5日は「世界津波の日」ということです。

1854年11月5日（旧暦）の安政南海地震による津波から村人を救った濱口梧陵（のちのヤマサ醤油の当主・政治家）の「稲むらの火」に由来するということですので、以下WIKIから引用します。

安政元年11月5日（1854年12月24日）夜、安政南海地震の津波が広村に襲来した後に、梧陵は自身の田にあった藁の山に火をつけて安全な高台にある広八幡神社への避難路を示す明かりとし、速やかに村人を誘導することができた。結果として村人の9割以上を救った（死者30人）。津波から命を救えるかは、情報の伝達の速さが関わっているという教訓を残した。これをもとに作られた物語が『稲むらの火』として知られている。

今年には熊本の地震から始まって、台風や水害で多くの人が無くなったり被災したりしています。

災害から身を守るためには上記のように、「情報の伝達」も必要ですが、「早めの避難（空振り避難も笑い話ですむ）」であり、「災害への普段からの備え（準備と心構え）」であり、なんといっても「自分は大丈夫とは考えない」ことであろうかと思えます。

1月17日、3月11日、9月1日に加えて11月5日もそのようなことに改めて思いを馳せる日としたいものです。

この文は9月19日に書いています。台風がまた近づいています。皆様くれぐれもご用心を！

※ いつになくまじめなメになってしまいました。